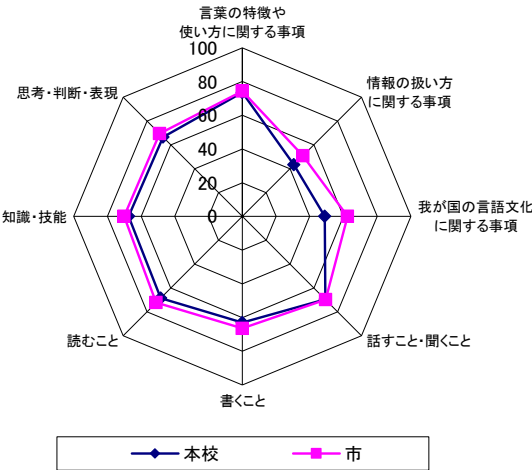


宇都宮市立桜小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	73.5	74.3	74.8
	情報の扱い方に関する事項	43.3	50.9	48.4
	我が国の言語文化に関する事項	48.9	62.4	60.8
	話すこと・聞くこと	69.6	69.9	69.7
	書くこと	63.0	66.4	64.6
	読むこと	68.5	72.3	71.0
観点別	知識・技能	67.5	70.1	70.0
	思考・判断・表現	66.5	69.5	68.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や 使い方に関する事項	○第5・6学年に配当されている漢字を答える問題では、正答率が6問中4問で市の平均を上回った。 ●謙譲語について答える問題では、正答率が市の平均を4ポイント近く下回った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・敬語についての学習は、定期的に反復して練習問題等に取り組むようにしていく。 ・日頃の漢字の読み書きの学習を継続し、漢字や言葉の問題への取り組みも継続していく。
情報の扱い方 に関する事項	●複数の情報の関係性を理解し、文章の情報を整理したり、目的に応じて簡単な文章を書いたりする問題では、正答率が市の平均を6～9ポイント近く下回った。	・国語だけでなく、社会や理科等での調べ学習でも情報から分かることなどをまとめ発表する機会を継続して実施していく。
我が国の言語文化 に関する事項	○漢字の読み・書きについては、5年生では配当されている漢字も6年生で配当されている漢字もほぼ9割が正答している。 ●漢字の由来について答える問題では、正答率が市の平均を14ポイント近く下回った。	・漢字の4つの成り立ち(象形、指事、会意、形成)について改めて整理し、漢字の成り立ちグルーピング遊びなどを通し、理解が深まるようにしていく。
話すこと・聞くこと	○計画的に話し合い、考えを広げるための工夫について答える問題では、正答率が市の平均を5ポイント近く上回った。 ●互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合う方法を答える問題では、正答率が市の平均を5ポイント近く下回った。	・国語だけでなく、学級活動での話し合い活動等でも互いの立場を明確にして進めることができるように指導していく。
書くこと	○グラフから読み取った事実を答える問題では、正答率が市の平均を2ポイント近く上回った。 ●表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題では、正答率が市の平均を8ポイント近く下回った。	・生活文などで時数を限定して書く機会も増やしていく。 ・国語の学習にとどまらず、身近な事象について表やグラフを用いて表す活動や機会を増やしていく。
読むこと	○物語文では描写を基に登場人物の心情を読み取り、自分の考えを広げる設問で市の平均を上回っている。 ●説明文の文章の論の進め方について答える問題では、正答率が市の平均を9ポイント近く下回った。	・説明文を要約する学習や情報と情報との関係を考える学習に取り組んでいく。